

登校・登園・登室許可証（医療機関が記入）

医師が記入した登校・登園・登室許可証が必要な感染症

○印	病名	登校・登園・登室停止期間
1	麻疹（はしか）	解熱後、3日を経過するまで
2	風疹（三日はしか）	発疹が消失するまで
3	水痘（水ぼうそう）・帯状疱疹（※①）	すべての発疹がかさぶたになるまで
4	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
5	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（乳児から幼児については3日※②）を経過するまで
6	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
7	結核	感染の恐れがなくなるまで
8	咽頭結膜熱（プール熱）	主症状が消失した後2日を経過するまで
9	流行性角結膜炎（はやり目）	感染力が極めて強いので医師の判断がでるまで
10	急性出血性結膜炎	医師の判断がでるまで
11	腸管出血性大腸菌感染症（O-157）	感染力が極めて強いので医師の判断がでるまで
12	髄膜炎菌性髄膜炎	感染の恐れがなくなるまで

※① 第2種感染症の対象ではない。

※② 乳児から幼児については、ウイルス排泄が長期に及ぶため登園基準を「解熱した後3日を経過するまで」とする。

（提出先） _____ 学校・園・学童室

_____ 年 _____ 組 _____ 児童・生徒 氏名

出席停止期間 _____ 月 _____ 日から _____ 月 _____ 日まで

_____ 年 _____ 月 _____ 日から登校・登園・登室してもよいことを証明します

_____ 医療機関名

_____ 医師名

_____ 印

切り取り

登校・登園・登室届（保護者が記入）

医師から登校・登園・登室可能と判断を受けた上で保護者が記入した届が必要な感染症

○印	病名	登校・登園・登室のめやす
1	手足口病	症状が改善し全身状態が良好
2	溶連菌感染症	治療開始後24時間経過し、全身状態が良好
3	伝染性紅斑（りんご病）	全身状態が良好
4	感染性胃腸炎	医師の判断がでるまで
5	ヘルパンギーナ	全身状態が良好
6	マイコプラズマ肺炎	症状が改善し全身状態が良好
7	RSウイルス感染症	症状が改善し全身状態が良好
8	突発性発疹	解熱後、症状が改善し機嫌よく全身状態が良好

（提出先） _____ 学校・園・学童室

_____ 年 _____ 組 _____ 児童・生徒 氏名

_____ 受診した病院名

_____ 通院した期間 _____ 月 _____ 日～ _____ 月 _____ 日

_____ 登校・登園・登室可能と判断された日 _____ 月 _____ 日

上記の通り相違ありません

_____ 年 _____ 月 _____ 日

_____ 保護者名

_____ 印